

産業建設委員会記録

令和4年5月20日(金)
午前9時58分～11時26分
全員協議会室

【委員】川上委員長、田畑副委員長

沖田委員、串崎委員、上野委員、布施委員、牛尾委員

【委員外】

【議長団】

【執行部】

(産業経済部) 佐々木産業経済部長、大屋商工労働課長、
夫谷産業振興課長(兼広島事務所長)、佐々木ふるさと寄附推進室長、
官澤農林振興課長、岡田農林振興課普及支援担当課長、
永見水産振興課長、大驛観光交流課長

(都市建設部) 戸津川都市建設部長(事務取扱建設整備課長)、
西谷建設企画課長、佐古建築住宅課長、皆尾災害復興室長

(金城支所) 邊金城支所長

(弥栄支所) 馬場弥栄支所長

(三隅支所) 久佐三隅支所長、斎藤三隅支所産業建設課長

【事務局】大下書記

議題

1. 執行部報告事項

- (1) 令和5年度国県重点要望事項について 【産業経済部・都市建設部】
- (2) 令和3年度 萩・石見空港の状況について 【商工労働課】
- (3) 道の駅「ゆうひパーク浜田」の公設民営化に関する検討資料 【商工労働課】
- (4) プレミアム付「はまだ応援チケット」の販売について 【商工労働課】
- (5) 令和3年度 はまだ産業振興機構 活動実績について 【産業振興課】
- (6) 浜田港の概況について 【産業振興課】
- (7) 令和3年度 ふるさと寄附の実績について 【ふるさと寄附推進室】
- (8) 令和3年度 広島事務所活動実績について 【広島事務所】
- (9) 令和3年 浜田市農業産出額について 【農林振興課】
- (10) 漁業別水揚げについて 【水産振興課】
- (11) 浜田地域水産業構造改革推進プロジェクト改革計画の認定について 【水産振興課】
- (12) 浜田市都市計画マスタープランの策定について 【建設企画課】
- (13) 令和3年7月・8月豪雨災害復旧事業の進捗状況について 【災害復興室】
- (14) その他

2 その他

3 産業建設委員会の取組課題について(委員間で協議)

- (1) 意見交換会における議題について

【議事の経過】

[09時 58分 開議]

川上委員長

出席者は7名で定足数に達しているので、直ちに委員会を開催する。議題に入る前に4月1日に人事異動となった管理職から一言ご挨拶いただきたい。また今回議題に該当のない管理職は、挨拶後は退席いただくようお願いする。

[異動のあった職員の挨拶]

たくさんの方に挨拶をいただいた。当委員会も浜田市のために頑張っていきたい。どうぞよろしく願います。

《 議題のない管理職退席 》

1. 執行部報告事項

(1) 令和5年度国県重点要望事項について

川上委員長

執行部から補足説明はあるか。

(「なし」という声あり)

委員から質疑はあるか。

(「なし」という声あり)

(2) 令和3年度 萩・石見空港の状況について

川上委員長

執行部から補足説明はあるか。

(「なし」という声あり)

委員から質疑はあるか。

(「なし」という声あり)

(3) 道の駅「ゆうひパーク浜田」の公設民営化に関する検討資料

川上委員長

執行部から補足説明はあるか。

商工労働課長

先月4月28日の委員会で状況等を説明した。その後、市としての姿勢あるいはゆうひパークが抱える問題点、また要望等にあった公設民営化の方向で進めるに当たっての問題点や課題、議決事項などをまとめてきた。これらをもとに市としてどのように進めていくかを検討していきたい。

川上委員長

委員から質疑はあるか。

布施委員

前回の委員会で、市長にも議会にも要望が出ていると聞いた。市長から議会への説明機会はないのか。

商工労働課長

次の全員協議会において、考えやどのように進めていくかを市長から説明させていただきたい。

布施委員

継続させるためにはいろいろな問題点をクリアしなければならない。公設民営化の方向でやるものと私も思うが、今の会社に任せてよいか、問題点を整理して5年後10年後を考えた提案をしていただきたい。担当課から問題点を市長に伝えているか。

商工労働課長

当然そういったことも踏まえて担当課と市長とで協議もしている。

牛尾委員

大きい問題なので一般質問で取り上げるつもりである。一番の問題は平成19年ごろに行った2億円の無利子融資。県を中心に、税理士、公認会計士、銀行員など当時の島根県最高レベルのメンバーが入って再建計画をつくり、それを根拠に融資を認めた。しかし現状は計画どおりでない。まずここから総括すべきだと思う。どこが間違っていたかをやっておくべき。「ここは必要な施設だから何とかしなければ」という言葉はここ10年よく聞いた。まず、どこに問題があったか、誰が当時の責任者だったかを含め総括した上で、この施設を残さなければいけないという視点に立ち、どうあるべきかを議論すべきだと思う。

川上委員長
牛尾委員
川上委員長

今の話に答弁は要るか。

一般質問で取り上げるため不要。

では今の話をよくご理解の上、執行部は準備をお願いする。ほかに。

(「なし」という声あり)

(4) プレミアム付「はまだ応援チケット」の販売について

川上委員長
商工労働課長

執行部から補足説明はあるか。

28日から市民優先販売を開始する。これまでは飲食店を対象にしていたが、次からは全事業種を対象に5万冊、1世帯当たり4冊までを限度に、40%分のプレミアムをつけて販売する準備を進めている。販売期間は5月28日から6月30日までとし、チケット有効期限は9月4日までとしている。現在、登録店舗は452で、5月23日の新聞折り込みで登録店が載ったチラシを配布する予定である。それ以降も登録受け付けは随時行っているため、チケット販売する際にはもう少し数が増えていると見込んでいる。

全体的なスケジュールは資料をごらんいただきたい。

川上委員長
牛尾委員

委員から質疑はあるか。

税金を使って市民サービスをする事業で、早い者勝ちなど絶対に言うてはならない。議決する議会の責任もあるので僕らも困る。万が一2日で売り切れたら、販売窓口立つ人が一番クレームを受ける。返答マニュアルを準備すべき。どういう心構えか。

商工労働課長

2日で売り切れたら増刷も考えないといけない。これが好評なら次もと市長も思っていると聞いている。窓口の対応マニュアルも整備するよう整理中である。混乱が起らないよう努めたい。

布施委員

業種別登録店舗を見ると、新たにガソリンスタンドなどが掲載されている。支払い方法に混乱があるとガソリンスタンドで渋滞が発生する恐れがある。自動支払い機がある場合のプレミアム商品券の使い方について、きちんと説明できるのか。

商工労働課長

ガソリンスタンドでどのように商品券が使えるようにするかは事業所側にお任せしているため、我々は確認していない。24日、26日に登録店への説明会を開催するので、そこで質問があった場合のために話し合っておきたい。

布施委員

混乱が起ることを予測しながら説明会に臨めば、準備しやす

沖田委員

いのではないと思う。よろしく願います。

このたび地元応援券を発行されるとのことで、浜田市は数年来BUY浜田運動に取り組まれている。個人一般質問においても、数字がつかみにくいと聞くが、今回わざわざ地元応援と色をつけたことによって数字がつかみやすいように思える。BUY浜田と連動して指標をつかむような取り組みは計画されているか。

商工労働課長

今回登録いただいた事業所の中でもBUY浜田運動に協力いただいている事業所がある。BUY浜田運動に協力いただいている事業所がこの共通券を使ってどうだったかは分析可能だと思う。販売、講習、チケット使用実績など拝見し、判断したい。

沖田委員

数字をつかむのは大事なので、ぜひやっていただきたい。BUY浜田運動は啓発だけでなかなか実績が見えてこないと数年来言われている。経済拡大のきっかけにしていきたい。

商工労働課長

分析につなげていきたい。地域通貨、電子マネーという方向もどこまでできるかは他市事例などを踏まえて研究を進めている。さらなる拡大を考えていきたい。

田畑副委員長

5月28日、29日に各支所で販売するとのことだが、中山間地域は土日に地域公共交通がほとんど走っていないため、それらを利用する方にとって不利になるように感じる。公金を使う事業なら公平性の担保も考えないといけない。どのようにお考えか。

商工労働課長

おっしゃるような課題はあろうかと思う。土日優先販売としたのも、平日は仕事があって買えないという方への措置のつもりである。どうしても自分で購入するのが難しい方は、誰かに代理購入をお願いしたり、敬老乗車券の乗り合いなどで対応いただきたい。

田畑副委員長

皆が公平に買える土壌をつくった上で、たまたま買うチャンスがないというならよいが、5万冊しか在庫がなく、1世帯4冊まで購入可能なら絶対足りない。交通弱者の方も買える仕組みができないなら、この事業は不公平があり過ぎる。

商工労働課長

土日は優先販売とさせていただいているが、30日から6月1日は商工会議所、石央商工会などの支所でも購入可能としている。

川上委員長

ほかに。

(「なし」という声あり)

(5) 令和3年度 はまだ産業振興機構 活動実績について

川上委員長

執行部から補足説明はあるか。

(「なし」という声あり)

委員から質疑はあるか。

(「なし」という声あり)

(6) 浜田港の概況について

川上委員長

執行部から補足説明はあるか。

産業経済部長

令和3年の浜田税関支署管内の貿易概況について。浜田港と三隅港を合わせた貿易概況である。貿易額の内訳が総額474億100

万円、前年比 155.2%、金額で 168 億 5300 万円と大幅に上回っている。増額要因は、輸出上位 5 品目の 1 位にある船舶類。これが 28 億 7500 万円が漸増したことが主な要因である。石炭運搬船が日本船籍からパナマ船籍に変更になったという特殊要因による。輸入では上位 5 品目の 1 位にある石炭が、前年比 163.4%で金額で 130 億円程度の大幅な増加となっている。これは主に三隅港に輸入される石炭である。令和 3 年は三隅火電 1 号機の定期点検があり、稼働がとまっていることもあって石炭の輸入量自体は減少しているが、石炭価格が大幅に上昇し輸入額が大幅に増加した。この二つの要因により貿易額が増えている。

川上委員長
布施委員
産業経済部長

委員から質疑はあるか。
クルーズ客船の寄港予定はあるか。営業はかけているか。
令和 3 年度に飛鳥Ⅱが入港予定だったが中止になった。一昨年も外国船籍のクルーズ客船 4 隻が全て入港中止となっている。現在、外国船籍の入港はめどが立っていない。国内客船は運行されているので、今年度に入り浜田港振興会を中心に船会社へ営業活動をしている。まだ正式な入港予約は入っていない。まず国内船クルーズの誘致を目指している。

串崎委員
産業経済部長

輸入順位の 3 番目がロシアだが、今後の状況はどのように把握されているか。
状況を確認したところ、石炭はオーストラリアとインドネシアがほとんどの割合をしめており、ロシアからの輸入は年間 2、3 隻のため、ロシア分をほかへシフトするのは全く問題ないと聞いている。
江津の製紙会社も石炭を入れているが、それも別の国にシフトするのは全く問題ないらしい。

川上委員長

木材だが、丸太は北米や中国からの輸入が主である。ただ、これは単板がスポット的に入ったとのことなので、木材についても影響はない。ウクライナ・ロシア情勢は浜田港にとってはあまり影響がないと聞いている。
ほかに。
(「なし」という声あり)

(7) 令和 3 年度 ふるさと寄附の実績について

川上委員長

執行部から補足説明はあるか。
(「なし」という声あり)

串崎委員

委員から質疑はあるか。
農林水産省の補助金を活用したとある。下のほうには人気が前年度を下回ったと書いてある。それについてご説明をお願いします。

ふるさと寄附推進室長

令和 2 年度から農林水産省の補助金を活用した、お得なお品という特集がポータルサイト側で生まれ、令和 2 年度からの影響を受けている。令和 3 年度で申し上げると、3 月から始まりその特集に人気があり、当市へのふるさと寄附への金額・件数が減少したが、当市も生産者や中間事業者の協力を受けて認定を受け、6

- 月、7月にお得なお品に参加した。そのため6月、7月は前年度実績を超えている。
- 農林水産省の補助事業についてはいろいろな規定があり、認定を受けるのも難しい状況だったが、事業者のご協力あつての結果である。
- 串崎委員 浜田市は米の売り上げが約10億円を超える。順位表では米とパンが一括になっているが、米だけの数字がほしい。14位にその他とあるが、詳細が気になる。
- 下のランキングのほとんどはノドグロだが、浜田市の米は大変おいしいので、ノドグロと米をセットにして販売したらどうか。
- ふるさと寄附推進室長 カテゴリーランキングの米とパンは、ご指摘のとおり分けて表示する。14位のその他は、工芸品等を除いた、コケ玉や空き家の見守りサービス、メダカ、新聞配送などだが、もう少しわかるように表記したい。
- ノドグロと米のセットはランキング12番、バラエティ定期便として組んだものもある。一度の寄附で定期的に数回届くバラエティ定期便は大変人気であり、令和2年度に比べ令和3年度は9品増えている。件数も上がった。寄付金額に換算すると約2千万円から2700万円の人気があるので、人気のノドグロに付随して特産品をPRする品の開発を今後もしていきたい。
- 牛尾委員 競争率が上がっている中で前年の数字を上回ったのは大いに評価したい。浜田市の品ぞろえが増えることが増額につながると思っている。松永牧場に協力を要請するべきでは。
- アナゴのブランド化が結構新聞にも書かれる。どんちっち三魚以外にもおいしいものがあるので、消費者が飛びつくようなアイキャッチを。ラインナップ商品を磨くとふるさと納税の上乗せにつながるのでは。泉佐野市はお金を出してブランドづくりをしているそうである。浜田市は12億円くらいで固まってきたので、さらに上に行こうと思うと新しい商品開発、新しい業者の参入にコストをかける考え方をしないと。爆発的にふるさと納税額を伸ばしているところもあるが、それはニーズがあるから。戦略を考えたらどうか。これ以上伸ばすにはお金を投入しなければ。
- ふるさと寄附推進室長 松永牧場の肉は数量限定なのだが、取扱量増について相談してみたい。どんちっち三魚に続くところも水産振興課とともにPRしていく。ブランドや特産品を磨くという点には力を入れていきたい。費用面はこれからの検討になるが、研修をとおして事業者が持っている品の掘り起こし、磨き直しについてもポータルサイトから研修を受けており、事業者とともに地場産業を磨いているが、引き続きよい特産品をPRできるよう推進していきたい。
- 牛尾委員 僕が言ったようなことを専門的に考えるような係をつくり、専任職員を置いて。稼ぐと市民サービスができるお金が生まれることに直結する。今も十分やっておられるが、さらに前向きに検討をお願いします。
- 川上委員長 ほかに。

(「なし」という声あり)

(8) 令和3年度 広島事務所活動実績について

川上委員長

執行部から補足説明はあるか。

(「なし」という声あり)

串崎委員

委員から質疑はあるか。

販路開拓の内訳を見ると、水産はほぼ横ばいだが農業は令和元年度が920万円、令和3年度100万円でかなり落ち込んでいる。どのように分析されているか。その他が約2千万円とあるが、その金額ならもう少し細かい内訳を出されてもよいのでは。

産業経済部長

令和3年度は農産110万円で令和元年からどんどん減っている。一番大きい理由は広島の手スーパーからの仕入れが大きく減った影響だと分析している。その他2千万円は水産・農産・畜産以外なのだが、例を言えば豆腐・赤てん・牛乳・菓子・ジェラート・味噌・醤油・工芸品などいろいろある。

串崎委員

スーパーの取り引きが減ったとのことだが、令和元年度の水準まで戻す対策はあるか。

産業経済部長

有機農業に力を入れていく。広島駅前の産直組合との取り引きがかなり上がった時期があったが、それが閉店して大きな影響を受けた。浜田市として農林振興課と一緒に農産品の販路開拓に努めていきたい。今は水産がメインだが、今後特に農産に力を入れたい。

川上委員長

ほかに。

(「なし」という声あり)

(9) 令和3年 浜田市農業産出額について

川上委員長

執行部から補足説明はあるか。

(「なし」という声あり)

串崎委員

委員から質疑はあるか。

有機野菜が前年対比マイナスになっているのはなぜか。トマトの売り上げは今後増えるか、水問題はその後どうなったか。梨はかなり落ち込んでいるが今後どうなるか。

農林振興課長

有機野菜が減少したのは7、8月の大雨による日照不足が主な原因である。生育不良となり金額が落ちた。トマトは金額的には昨年比増であるが、基本的には令和3年をベースにして増を狙っている。水問題だが、井戸水の水質改善が見られないため水道水を活用しながら対応している。井戸水の対応も考えつつ、並行して取り組んでいきたい。梨は令和2年3年は、2年連続で霜にやられた。我々も非常に危惧している。農家には加入してもらっている収入保険で補填しているが、関係者で協力し合っとうまくいくよう取り組んでいく。

串崎委員

一番危惧するのは梨である。前は1億円あった。今後また1億円まで持っていく対策、方法はどのように考えているか。

農林振興課長

今後の対策だが、なかなか経営が厳しいため農業を離れられる

川上委員長

方もいる。しかし梨産地として取り組んでいきたい。まずは現状のメンバーでどのように取り組めるかを協議している。まずは生産量を元に戻すよう取り組んでいきたい。

ほかに。

(「なし」という声あり)

(10) 漁業別水揚げについて

川上委員長

執行部から補足説明はあるか。

(「なし」という声あり)

委員から質疑はあるか。

(「なし」という声あり)

(11) 浜田地域水産業構造改革推進プロジェクト改革計画の認定について

川上委員長

水産振興課長

執行部から補足説明はあるか。

この件についてこれまで説明する機会がなかったもので、少し補足させていただく。今は沖合底びき網漁業1か統、1船団が国のもうかる漁業創生支援事業を活用して、その助成金を受けながら実証事業を行っている。この改革計画については6番目のスケジュールをごらんいただきたい。このメンバーは行政機関、漁業者、流通確保団体、商工団体、金融機関、県立大学の教授にメンバーに入ってもらい、沖底の改革計画について議論し策定した。これを水産庁所管の漁業改革推進集中プロジェクト主要協議会に提案し、水産庁より認定されたとのことで、今後正式に国の事業を活用しながら進めていくことになった。実証機関は令和5年度から10年度。初め3年間にわたり国の助成が受けられる。まずは漁船の安全性確保、労働環境の改善、漁業収益性向上の両立を図るという観点で実証事業をされる。具体的には、121トンの船2隻をつくるが、漁獲能力については75トン。121トン級許可となると操業範囲もかなり限られるものだが、これまでどおり操業できる。船を大きくすると同時に省エネ型に設計することで燃油量を削減する。船の動線設計もされる。その船体並びに作業環境の安全確保もそれに準じる。

特に大きいのは乗組員の居住環境改善で、これまでは大部屋で過ごしていたが個室にしてさらに大型化することで労働環境をよくしていこうということである。

漁獲物の高付加価値化だが、これまでリシップ事業のときに鮮度のよい魚を持ち帰るために冷海水装置をつけたが、1トンの水槽を4トンに拡大し、より鮮度のよい魚を水揚げする取り組みをする。

I C Tを活用して資源管理を行ったり、これまで手書きだった漁業情報などもI C Tを活用して手間を省く取り組みも、この実証事業内で行う。

予算措置だが、3年間にわたって国の用船料等相当額、3年間にわたって約10億円に対し、国から約3億円強の助成金を見込

川上委員長
牛尾委員

んでいる。さらに県市で上乘せということで、3月定例会議で5年から8年まで債務負担行為、上限3億円ということで上程したが、国の補助残の2分の1以内、上限3億円を令和5年度から8年度にかけて、市も上乘せ補助をしていく。具体的な予算は令和5年度当初で説明させていただきたい。

委員から質疑はあるか。

残り3か統は全船新船に向けて、引き続き努力していただきたいが見通しはどうか。

水産振興課長

水産加工の関連も考えると今の船団は何が何でも維持存続させることが使命だと考えている。今回はもうかる漁業の補助金を使うが、リシップ費用も上昇している。国の事業をまずは活用検討しながら残りは県市で連携して支援しつつ、維持に向けて検討していきたい。

牛尾委員

新船で魅力的なのは省エネや居住環境の改善である。浜田はおくれていたので、これでようやく標準装備。なるべく早く全船新船にして、さらに水揚げが上がる努力をしていただきたい。

川上委員長

ほかにないか。

(「なし」という声あり)

(12) 浜田市都市計画マスタープランの策定について

川上委員長
建設企画課長

執行部から補足説明はあるか。

今後の予定は、5月30日の臨時会議後の全員協議会にて報告を予定している。

川上委員長

委員から質疑はあるか。

(「なし」という声あり)

(13) 令和3年7月・8月豪雨災害復旧事業の進捗状況について

川上委員長
災害復興室長

執行部から補足説明はあるか。

資料は令和4年4月30日現在のもとなっている。なお周布橋かけかえ工事は建設整備課が担当しているので、この表にはカウントしていない。

土木災害は昨年12月中旬までに国の災害査定を受けた60万円以上の工事を記載している。

(以下、資料を読み上げ)

今後も進捗状況は定例会議前の委員会などで報告していきたい。

川上委員長
串崎委員

委員から質疑はあるか。

農地22.4%と発注率が最も悪い。下は農地が49.3、農業施設19.3。なかなかもとに戻らなければ農業をやめる方もいるのでは。なぜ農業が遅いのか。最も大事だと思うが。

災害復興室長

農林災害の特に農地については、受益者負担金もあるので一人一人話をしながら工事を進めている。中には災害復旧は稲刈りが終わった後にしてほしいという方もかなりおられるので、そういう意見を聞きながら進めている。農地の進捗率は上がってないが、

串崎委員
災害復興室長
川上委員長

皆の意見を聞きながら進めている。
やめると言われた方がいるか。
私どもの聞いている範囲ではない。
ほかに。

(「なし」という声あり)

(14) その他

川上委員長
商工労働課長

ほかに執行部からないか。
はまだ応援チケットについて牛尾委員からいただいたマニュアル等の話の中で、第2弾もという発言をした。そもそもはまだ応援チケットは地元業者への経済対策支援として市民に購入いただくことを配慮して優先販売とさせていただいた。今後、増刷なども含めてはコロナ支援対策全体の協議において検討したい。次も好評ならやるという私的な発言もしたが、状況を見ながら検討させていただくという形に訂正させていただきたい。

牛尾委員

優先販売時点で売り切れて、購入できなかった市民がいた場合はしかたないという説明をされるのか。

商工労働課長

用意してある分が2日間で売り切れた場合は申しわけないが売り切れたという返答で対応させていただきたい。

牛尾委員

税金を使って市民サービスをするのに、売り切れたから申しわけないというのか。条件不利地域で買いに行きづらい方もいることが想定される中、売り切れごめん税金を使って市民サービスするような施策は批判が出る。慎重に配慮いただかないと、そういうことを議会が認めたのかと言われたら僕らは辛い。

川上委員長

私もそのように感じている。このことはぜひご検討いただくようお願いする。できれば30日に続報をお願いする。

5月30日の全員協議会へ提出して説明すべきものを決定したい。執行部の意向をお願いする。

商工労働課長

(3)、(12)を予定している。

川上委員長

2件とのことだが、委員から意見はないか。

沖田委員

先ほど牛尾委員の話もあったが、はまだ応援チケットについては出さないのか。

産業経済部長

30日より前に販売が始まるのだが。販売結果も含めて報告したほうがよいのか。

(「はい」という声あり)

川上委員長

状況も踏まえて報告させていただく。

プレミアム応援チケットについても販売状況及び対応した状況等についても報告いただくようお願いする。では3件についてお願いする。

2. その他

川上委員長

執行部から何かあるか。

(「なし」という声あり)

では執行部はここで退席されて構わない。

《 執行部退席 》

3. 産業建設委員会の取組課題について（委員間で協議）

(1) 意見交換会における議題について

川上委員長

先日、漁業関係者との意見交換会について本日は質問事項を上げていただくようお願いしていたと思う。質問は事務局で取りまとめ、3者にあらかじめ渡す予定である。その後意見交換の日程調整をするのでご協力をお願いする。では質問事項をお願いする。私からは「漁業に取り組もうとした経緯」「そのときに経験した問題点」「現在の問題点」「必要だった応援」「現在の状況と今後への取り組み課題」を書いた。今回3者ピックアップしているが、三者三様で興味深い答えが出てくるのではと思っている。特段聞きたいことがあればお願いする。

串崎委員

3番の方に、なぜ浜田市を選ばれたか聞いてみたい。それと1番の方に今後のビジョンを聞いてみたい。

沖田委員

委員長が書かれた項目で大体のことは網羅されているかと思うので十分かと思う。

布施委員

3者を1日ずつやるのか、グループに分かれてやるのか。スケジュールなどがわかっていればお示しいただきたい。

川上委員長

現在まだスケジュールはない。どのような形がよいか迷ったが、三者三様なので同時にやるのがよいような気がする。それでよければそのようにさせていただきたい。

牛尾委員

この3者を見ると1、2番は親が漁師で船もあるのだろうから、割とすんなり漁業に入り込める環境である。3番の方はまるで違うので別のほうがよい気もするのだが。3番の方はまだどのような漁業を目指すかもわからない。1、2番の方はどのようなことをやりたいかが見えている人だと思う。したがってできれば1、2番と3番は別のほうがよい。

川上委員長

有効な意見だと思うので考えさせていただきたい。牛尾委員が言われたように1、2番の方は同時に話を伺う。3番の方は時間をおいていただく。同じ日であっても最初の二人から聞いて、その後3番の方から話を聞く。それでよろしいか。

（ 「はい」という声あり ）

ではそのことを考え、この3名には話がしたいということをし送り、時期をつかみたい。なるべく本会議に関係ない時間にやりたいが、相手があることなのでまた時間は皆にお知らせする。

以上で全ての議題が終了した。最後に次回の委員会の日程と内容について調整する。

次回は6月15日水曜日、定例会議初日、産業建設委員会になるがよろしいか。意見交換については調整させていただくのでよろしく願います。

ほかに皆から何かないか。

布施委員

コロナ禍の影響で視察を随分やってない。相手先のこともある

川上委員長

布施委員

川上委員長

が、政策提言につなげるためにそろそろ計画しなければならない。時期は未定だが6月定例会議が終わり7月ごろに視察を考えている。前期の委員会から引き継いでいるが私が幹事で取りまとめるように現委員長と話している。牛尾委員にも補佐していただいている。

浜田市が検討中の陸上養殖について。休耕田を利用する事例や、廃校を利用している事例もある。それらを視察してはどうかという声もある。今月中に、もし視察候補地があればそれも加味するので提案していただきたい。委員長、そのように諮ってほしい。

布施委員から視察に関する提案があった。ほかにもご意見がある委員は次回にご意見を伺うか。

休耕田を利用した陸上養殖の事例は千葉にある。もし同じところへ行くなら、陸上養殖だけでなく農林業の取り組みなどがあれば1日で2か所回れる。同じ方面でもいろいろなものが見られる。皆の行きたいところがもしあればお願いします。

今月中に決めたいという話だったので、今月中でよいか。

(「はい」という声あり)

では30日までに皆のご意見をお持ちいただくようお願いする。以上で当委員会を終了する。

[11時 26分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

産業建設委員長 川上 幾雄